臺灣日日新報
本日四頁

# 飛行場設定に挺身
# 濠洲の偵察に武功
## 畏し感狀上聞に達す

【東京發】今次大東亞戰の勃發以來わが陸軍航空部隊の活躍は[illegible]戰の劈頭上陸作戰並びに爾後の地上作戰に協力し幾多の偉功を建ててその聲價を高揚してゐるがこの蔭にはわが航空部隊の眼とも言ふべき飛行場設定部隊の貢獻に絶した努力と航空作戰の目とも言ふべき戰狀偵察任務に當る偵察飛行隊の辛苦があることは忘れてはならぬ、大東亞戰勃發に際し先づ速かにわが飛行基地を設定して困難なる[illegible]進攻作戰並びに同上陸作戰に寄與し又チモール島に於ける飛行場設定に當つてはあらゆる辛酸を克服して同島方面に於けるわが航空作戰の基礎的飛行場群を完成せしめわが陸海軍航空作戰に寄與した河端部隊並びに緬甸方面航空作戰に偉功を建て昭和十七年七月バンダ海方面に轉じ爾來濠洲本土の搜索任務に出動すること實に七十回餘、特に昭和十八年六月下旬の陸海軍航空部隊の北濠進攻作戰に率先適時適切なる敵情の搜索を敢行、其の作戰指導に重大なる貢獻をした佐々木飛行中隊に對しては曩に同方面陸軍航空部隊最高指揮官から感狀を授與されたが、今回畏くも上聞に達せられた旨十九日陸軍省から左の通り發表された

**陸軍省發表**（九月十九日十六時）

大東亞戰爭開始以來各方面の飛行場設定に挺身せる河端飛行場設定隊同配屬部隊及び特に濠洲方面の搜索に武功拔群なる佐々木飛行中隊に對し曩に南方方面陸軍航空部隊最高指揮官より感狀を授與せられしが今回畏くも上聞に達せられたり

### 感狀

河端飛行場設定隊
同　配屬部隊

右は河端少佐の指揮に屬し[illegible]、比島、ジャワ方面に幾多の飛行場を設定し飛行部隊の活動に寄與せる所甚大なり

特にチモール島に於ける飛行場設定に方りては隊長自ら挺身して空地より之が適地を偵察し其の作業部隊たる陸上勤務隊と共に炎熱瘴癘の僻地[illegible]依るべきもの無き環境に在りて具さに辛酸を嘗めつつ一意作業の遂行に努力し短時日の間克く殆んど理想的なる飛行場群を完成し以てチモール島方面に於ける航空作戰の根據を確立せり即ち本年六月下旬の濠北航空作戰に方りては陸海軍航空部隊は專ら該飛行場群を利用して濠洲本土に進攻し赫々たる戰果を收め以て其の戰略戰術的價値の偉大なるを實證せり

斯の如きは隊長の崇高なる人格と卓越せる指揮統率の下將兵一體[illegible]責任觀念を以て渾身協力の成果に[illegible]地上勤務部隊の本領を遺憾なく發揮せるものにして以て[illegible]とすべく其の武功拔群なり

仍て茲に感狀を授與す

昭和十八年六月三十日　南方方面陸軍航空部隊最高指揮官

### 感狀

佐々木飛行中隊

右は大東亞戰爭開始以來陸軍大尉大平忠光指揮の下に又昭和十七年二月同大尉戰死後は陸軍大尉佐々木[illegible]を中隊長として[illegible]甸方面航空作戰に從事し屢々偉功を奏し武勳著々たるものあり、昭和十七年七月轉じてバンダ海方面に於ける搜索任務を擔任し長驅濠洲本土に出動すること實に七十回餘此の間克く人的物的の有ゆる困難を克服し至險なる敵の哨戒網を突破して敵航空狀況を闡明し軍の作戰計畫策定に寄與する所甚大なり、特に昭和十八年六月下旬陸海軍航空部隊北部濠洲進攻作戰を實施するや中隊長の的確なる指揮と率先垂範とに依り適時適切なる敵情搜索を敢行して其の作戰指導に寄與し以て赫々たる戰果獲得の根基を築けり

斯の如きは中隊長を核心とし將兵一體鐵石の團結を以て常に烈々たる責任觀念旺盛なる企圖心及精到なる訓練の成果に依り司令部偵察隊の本領を遺憾なく發揮せるものにして其の武功拔群なり

仍て茲に感狀を授與す

昭和十八年六月三十日　南方方面陸軍航空部隊最高指揮官

## 感謝狀も贈らる

【東京發】南方方面陸軍航空部隊最高指揮官より感狀を授與せられ今回畏くも其の拔群なる武功上聞に達した佐々木飛行中隊に對し○○方面艦隊司令長官は同中隊が濠洲方面艦隊の搜索偵察を敢行し海軍航空部隊の濠洲北西部に對する航空進攻作戰に寄與する所大なる點あつたに鑑み左の感謝狀を授與した旨十九日發表された

### 感謝狀

佐々木飛行中隊

陸軍大尉佐々木[illegible]の指揮する飛行中隊は濠洲北西部の偵察に從事し昭和十七年十月以降同十八年四月に至る期間七十數回に亙り嚴重なる敵の警戒を突破し敵飛行場並びに軍事施設の搜索偵察を實施し濠洲北西部に於ける敵航空兵力の配備を詳かにし以て海軍航空部隊の濠洲北西部に對する航空進攻作戰に寄與する所極めて大なるものありたり

仍て茲に感謝の意を表す

昭和十八年五月一日　○○方面艦隊司令長官

# 各地に飛行基地設定
## 河端部隊の奮鬪經過

【東京發】河端部隊は先づ[illegible]○○地點に飛行場を設定したが大東亞戰勃發するやわが航空部隊はここを基地として對比島作戰を敢行、困難なる[illegible]進攻航空戰並に上陸作戰成功の因をなし大東亞戰爭に[illegible]たる偉功を樹てたのである、その後引續き武勳を見れば次の如し

**比島に於る奮鬪狀況**

昭和十六年十二月十日ルソン島附近に友軍地上部隊と共に敵前上陸を敢行、敵機の熾烈なる來襲その他各種の困難條件を克服して上陸後三日にして飛行場を整備、わが先遣隊の推進を可能ならしめ航空部隊の[illegible]を容易ならしめたのみならず航空部隊の地上作戰協力をして眞に空地一體の攻撃を發揮せしめた、爾後○○飛行場の設定、擴張、[illegible]又○○飛行場の[illegible]昭和十七年一月下旬の[illegible]まで隊長以下寢食を忘れ迅速なる作戰の進捗に追從し克く飛行場を確保整備してわが航空部隊の推進を容易ならしめ空地一體の綜合戰力發揮の基礎を確立した

**ジャワ島奮戰狀況**

三月一日ジャワ島バンダム灣[illegible]ヤネガラ附近の敵前上陸に成功、[illegible]を携げて率先陣頭に立つ隊長の風格は部下將兵の士氣を鼓舞、比島における命懸けの奮鬪なる體驗、[illegible]を活用、第一線歩兵部隊に追隨して○○飛行場の設定、ジャワ全土における占領飛行場の整備、擴張、飛行場設定地の偵察、設計計畫の立案、指導等地上部隊と協力して同部隊全將兵は隊長のよき指揮の下[illegible]氣旺盛その任務を完了しジャワ島上陸作戰以來の航空作戰を有利ならしめたるのみならず占領後におけるわが航空部隊の運用上絶大な貢獻をなした

**チモール島奮戰狀況**

昭和十七年九月以降わが航空部隊は[illegible]バンダ海方面に進攻を開始した、然しこの方面に第一線飛行場として使用し得るものはチモール島における一、二の飛行場を利用し得るのみで我が航空作戰のためには飛行場の設定が緊要なものであつた、當時チモール島方面で飛行場可能地は治安の不良、交通の不便、敵機の熾烈なる來襲等のため全然不明であつた、かかる困難條件下にチモール島飛行場設定の命令を受けた河端隊長は率先空中から[illegible]チモール島一帶を偵察、更に地上からも[illegible]部隊とともに身を挺して敵中を突破し詳細な偵察を遂げ遂に○○○○地區に飛行場適地を確定した、次で我方にたつた部下部隊が逐次チモール島に到着するや直ちに飛行場の設定に着手し我が飛行部隊主力のため飛行場設定に邁進した、同部隊は當時長途の船舶輸送による[illegible]、これに續く晝夜兼行の飛行場設定作業、[illegible]による休養設備の不備、その他この地特有の風土病、氣候風土の[illegible]等のため多數患者が發生し然も十二月上旬から連日の空襲のため飛行場の地盤は軟化し[illegible]連日敵機の來襲を受け資材は不足を告げるなどその苦難は筆舌に絶するものがあり[illegible]野生の草などを常食とするといふ困難を忍び[illegible]うちに默々として飛行場設定に邁進

十二月二十二日漸く第一の滑走路を完成しその翌日には友軍飛行部隊の使用を可能ならしめ更に第二の滑走路の完成するや更に他の飛行場の設定の命を受けるといふ[illegible]の中にも寸暇なき努力を續けた、翌十八年二月下旬には新たに○○西方[illegible]に第一線飛行場を完成、三月初めには友軍飛行部隊がここに常駐使用するといふ[illegible]を示した、同部隊の飛行場設定作業は現地人夫が殆どなく同時に部隊自身の手によつて[illegible]

[illegible]

**河端少佐略歴**　[illegible]

**佐々木大尉略歴**　[illegible]

# 廣範圍に資料蒐集
## 佐々木飛行中隊戰鬪經過

【東京發】佐々木飛行中隊はわが[illegible]のビルマ作戰開始以來終始[illegible]上進行作戰に協力して敵航空部隊[illegible]

[illegible]

**バンダ海方面の奮戰**

昭和十七年七月バンダ海方面の搜索任務を擔任した同中隊は從來全く不明だつた北部濠洲の敵航空部隊の[illegible]

[illegible]

# ムンダを又も強襲
## 必中彈を雨と注ぐ

【南太平洋○○基地十九日發同盟】ソロモン海域を繞る彼我の空中戰は日毎に激烈の度を深めてゐるが去る十八日未明帝國陸軍航空部隊は又もニュージョージヤ島ムンダの敵陣地を強襲し[illegible]地上砲火を物ともせず[illegible]必中彈を雨と注ぎ、[illegible]その一箇所に大爆發を起さしめた外、四ケ所に火災を生ぜしめ內一ケ所は大火災が起り燃え盛る火焰を尻目に全機悠々歸還した

**敵側の發表**　【リスボン十八日發同盟】メルボルン來電＝西南太平洋[illegible]司令部は十八日次の通り公表した

十七日夜日本航空部隊は大編隊を以てニュージョージア島ムンダ及びベララベラ島バラレマの米軍陣地を爆擊[illegible]を被つた

# 戰鬪熾烈化の一途
## 言語に絶す苛烈の戰局

【東京發】彼我勢力圈交錯する[illegible]西南太平洋に於ける北部ソロモン並にニューギニア島方面攻防戰はその日その日が決戰である、[illegible]

**アリューシャン方面**　[illegible]

**支那方面**　地上作戰＝[illegible]

**チモール、バンダ海方面**　[illegible]

**ソロモン方面**　地上作戰＝[illegible]

**ビルマ方面**　地上作戰＝[illegible]

**北部佛印方面**　[illegible]

**ニューギニア方面**　地上作戰＝[illegible]

# 供出完遂に努力
## 米穀懇談會第一日

【東京發】本年産米の政府供出[illegible]に關する農林省と全國地方長官との懇談會第一日は十八日午前九時より[illegible]

[illegible]

## 海南島の殘匪を反復掃蕩

【海口十九日發同盟】海南島西北方山岳地帶に據つて[illegible]

[illegible]

## 武漢に又三機
## 倉皇遁走す

【漢口十八日發同盟】[illegible]

[illegible]

# 祖國の屈辱を抹殺
# 盟邦とともに戰へ
## ムッソリーニ統帥演説

【ベルリン十八日發同盟】ローマ來電＝ムッソリーニ統帥はグランサッソオの山莊から救ひ出された後先づ獨逸大本營においてヒ總統と會談、十八日[illegible]宣言を發表したが、十八日午後九時(日本時間十九日午前四時)からローマ放送局を通じイタリア國民に對し演説を放送、次の通り述べた

一、イタリア國王エマヌエーレ三世は國民を裏切り極めて苛酷な休戰條件を受諾した以上の行爲について國王を直ちに審問に附さればならない

一、イタリア軍は直ちに[illegible]し日獨兩國其他の盟邦と共に武器をとつて再び[illegible]を繼續しなければならない

一、金權政治を徹底し眞に社會的な基礎の上に國家を建設しなければならない

一、裏切り分子特に七月二十五日以來バドリオ降伏政權に味方した分子は悉く掃蕩しなければならない

【ベルリン十八日發同盟】ム統帥の演説全文次の通り

黑シャツ隊員諸君、イタリア國民諸君、久しい間の沈默の後諸君は再び余の聲を聞いて必ず余の聲だといふことを判つて呉れると思ふ、自分は諸君の前に立ち現はれる前に暫らく默想してゐた、公の場所に出る前に先立つて暫らく休養する必要あり、更に世間と隔絶してをつた結果世界の動きと再び接觸をとらねばならなかつた、しかもラジオでは長い演説が出來ないから一々の出來事には立ち至らず七月二十五日の事件から話を始めよう、自分の一生涯は波瀾重疊を極めてゐるが、しかも七月二十五日にはこれらの波瀾の中でも考へられないやうな事件が持ち上つたのであつた

**國王**　との會談は僅二十分或ひはそれよりも短かかつたかも知れない、しかしながら既に國王は肚を決めてゐたので國王との間に話合ひを續けることは出來ず危機は漸々に迫つてゐる、勿論戰時平時を問はず一人の將軍が[illegible]とか、一人の將校が戰死することは何時でも起きることだが、國王に對し二十年以上に亙り[illegible]まで忠實に奉仕した人間が國王の私邸の玄關先で逮捕され、赤十字社の自動車に押し込められ目まぐるしい位な速さで一つの兵營から他の兵營へ監禁されたといふことは未だ曾て聞かないところだ、國王の所謂保護[illegible]が余自身のために一向安全でないといふことは最初から判つてゐたが、この印象はローマからポンツァに移されると共に一層強くなり、ポンツァからサンタマダレナ島に移され、更に敵に自分を引渡すための既定計畫に基き同島から更にグランサッソオに移されるに及んでいよいよ確實となつた、然し世間からは切り離されてしまつたが自分はヒ總統が余と言ふよりも寧ろ兄弟として必ず自分の身邊を見守つてゐて呉れるといふ

**信念**　を抱いてをつた、[illegible]

[illegible]

**祖國**　が未だ曾つて[illegible]

[illegible]

**臆病**　[illegible]

[illegible]

**屈辱**　と悲慘とを[illegible]

[illegible]

**團結**　は失はれてゐない、[illegible]

[illegible]

**降伏**　を望んだかも知れない[illegible]

[illegible]

一、日獨兩國その他の盟邦と相携へて再び武器を執ること、血による以外祖國の歷史における屈辱的なページを抹殺することは出來ない

一、ファシスト義勇軍を中心としてイタリア軍を即時再建すること、所信のために武器を執り戰ふもののみが初めて勝利を得るであらう

一、裏切者の抹殺、特に七月二十五日午後九時半降伏政權に味方し斯くして敵に味方した裏切分子の抹殺

一、金權主義を清算して社會的基礎の上に且つ市民の支持の下に國家を建設すること

[illegible]

【官報號外】

[illegible]

**人事**

[illegible]

貯蓄は銃後の彈丸
第一生命保險相互會社
東京・日比谷

肌を護る
クリーム狀液……
勤勞の後の汗や埃で汚れた肌を清浄にする！
ウテナ バニシング
大阪・東京 中山太陽堂

臺灣總督府官報
月極購讀一箇月四拾五錢
外に月別保存用官報一冊金九十錢
發賣所 臺灣日日新報社
島內臺日取次店

航空少年 緊急增刊 航空日記念
少年飛行兵號
陸軍航空本部指導 五十二錢
少年の進むべき道は空だ……遙かなる大空へ……
國民學校からすぐ少年飛行兵になるには
少年飛行兵の學校生活
飛行兵學校を卒業して
本號に限り豫約なし、誰でも買へます
少年飛行兵出身の荒鷲戰記・戰鬪に[illegible]
僕らも空へ
軍神加藤少將
日米空の決戰畫集
誠文堂新光社

急告！
保確……工場・鑛山用教科書
昭和十八年度用八十餘種目完成
採用通報書・締切迫る
最終九月三十日本學院着
財團法人 國民工業學院

| | | | |
|---|---|---|---|
| 物理學 | 1.25 | 航空機 | 1.70 |
| 初等化學 | 1.20 | 航空發動機 | 1.20 |
| 實用力學 | .70 | 航空學大意 | .81 |
| 代數學 | 1.00 | 電氣工學大意 | 1.00 |
| 無機化學 | 1.25 | 機械工學大意 | 1.20 |
| 有機化學 | 1.10 | 機械工作法 | 1.25 |
| 定性分析 | .80 | 機械製圖 | 1.25 |
| 定量分析 | 1.05 | 工作機械及工具 | 1.10 |
| 採鑛學 | 1.70 | 工業材料 | .80 |
| 工業爆藥 | 1.50 | 測量 | 1.10 |
| 選鑛學 | 1.60 | 建築材料 | 1.00 |

借成社
芭蕉隨想 あしたに夕べに 荻原井泉水著
人と文學 高山樗牛 高須芳次郎著
母心 友松圓諦著
村を護る 菅原兵治著
野の哲人 二宮尊德 菅原兵治著

# 南方圏の特産資源　活用に新なる分野

大東亜戦争における皇軍の[illegible]によつて南方の広大な資源は悉く我が手に帰した、これらは直ちにそのまま利用されて日本の戦力資源化されると同時に[illegible]米英を遂に[illegible]手段に用ひられてゐる、しかも南方の多種多様なこれらの資源は一旦わが占領下に帰するや日本の優秀な技術によつて従来全く知られなかつた新用途が見出され新しい分野に活用されてゐる[illegible]以下南方現地から報ぜられたこれらの新用途の一端を紹介しよう

## ゴムから各種の油

南方の資源のうちで最も活発に新用途が開かれたものはゴムである

まづ生ゴムの燃料化については昨年七月二十日マライ半島ペラ州でゴム油自動車の試運転を五百哩の距離に亘つて行ひ非常な好成績を収めた、これによれば一ガロンのゴム油は同量のガソリンに比して走行距離において約一割五分乃至二割五分を増した、ゴムの燃料油化はここに使用への第一歩を踏みだすに至つた、また生ゴムから[illegible]を抽出することは南方ゴム生産地で一斉に行はれてゐる、ゴム椰子は従来全く捨ててかへりみられなかつたが、この七月昭南の〇〇工場でゴム椰子からの搾油を試験的に行ひ近く大規模生産が行はれようとしてゐる、これは欧州のペイント原料油、桐油の不足に代用するため着目されたもので、[illegible]ゴム椰子油は半乾性油でそれ自体としては完全なペイント原料油とならぬが亜麻仁油と混合すればペイント原料油として十分利用することができ、また燈火油としては椰子油の代用となる、マライだけでも年産約〇トンの搾油が可能とされてゐるから他のゴム産地でこれが行はれることになればペイント工業の[illegible]燈火油供給源を増加し原住民に光明を與へるところ、大なるものがあらう

## 生ゴムの新用途

次に生ゴムそのままを各種の新用途にあてることも盛んに工夫されてゐる、ジャワの〇〇会社では去る六月下旬〇トン半のゴム[illegible]の試造に成功、各種試験の結果素晴らしい成績を収めた、[illegible]生ゴムを加工して造つたもので[illegible]から船體全部が文字通りゴムで[illegible]その他が殆ど[illegible]されてをりこれを[illegible]によつて運航すれば[illegible]物資は勿論ゴム[illegible]は到着地でその生ゴム原料として[illegible]使用されうる重要なものである

◇……◇

## 砂糖から重要燃料

大東亜戦争勃発直後ゴムと並んで共栄圏の過剰生産物とされたものに砂糖があつた、ゴムに以上の如く幾多の新用途を見出されたと同じやうに、砂糖もまた従来の如き単なる食料物資の域を脱してアルコール及び高級燃料として[illegible]

[illegible]

◇……◇

## 熱帯植物から纖維

南方各地ではそれぞれ[illegible]、その中から[illegible]を一、二拾つてみよう、マライ、スマトラ[illegible]

[illegible]

◇……◇

セレベスの建設に挺身する原住民—[illegible]

---

# 全島蔽ふ日本語熱

## 澎湃比島建設の自負

### 現地當事者座談會の（上）

【マニラ[illegible]】比島における日本語の普及は[illegible]

[illegible]

## 日本語教育の現狀

[illegible]

## 小學校の日本語教育

[illegible]

## 女學生と日本語熱

[illegible]

## 修道女と日本語

[illegible]（續く）

---

# 大東亞の佛教を生かして共榮圏の紐帯たらしめよ

增谷文雄

## 佛緣に繋がる十億民衆

去る七月東京において大東亞佛教[illegible]

[illegible]

## 東洋の宗教的寛容

[illegible]

## この土地の佛教を

[illegible]

## 印度への影響

[illegible]

---

# 獨立國緬甸の性格

## 闘ふビルマとその民族

[illegible]

## 獨立即戰爭

[illegible]

## 外交問題

[illegible]

## 民族問題

[illegible]

## 國民組織

[illegible]

---

# 邦人南進の先驅

## 異鄕の墓碑に偲ぶ

府農試所技師　山田金治

[illegible]

---

新スマトラ建設の意氣に燃えて

[illegible]

---

# 共榮圏住民の教育

## 『大東亞造り』の理想へ

[illegible]

---

野村の投資信託

第七回受益證券賣出

運用金[illegible]

配當　年四分三厘

期間　三箇年

一口　五百圓

申込　九月二十八日迄

野村證券台北支店

台北市表町二ノ一〇

鐵管に優る　ゼニス　パイプ

水道管　排水管　工場用送水管　導水管　一般下水管

台灣ゼニスパイプ株式會社

高血壓に　リキシン

中風に

今村化學研究所

優性胃腸疾患

良吸收性ビタミンB$_2$複合體

理研ビタスゲン錠

登録商標　腫潰腫物かんそう付け薬　滅瘡散（めつそうさん）

調劑本舗　伊藤篤生堂

つうつうにザール

ビオトモサザシン錠

胃酸過多　胃潰瘍に

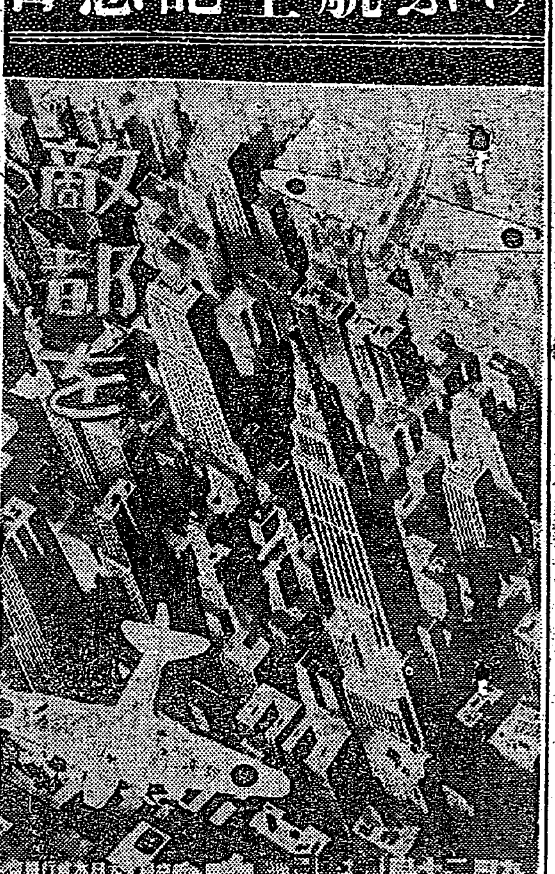
方田製品

パイロットインキ

優良廉價　後陣の本務

大東亞の大空を　"日の丸翼"で蔽はん

# けふ航空記念日



# 空の決戰連續の秋

## 總てを捧げよ大空へ

輝く航空戰果にけふ二十日四度目の航空日を迎へた、緒戰における長驅赫頭の航空戰果以來、大東亞の空を制して[illegible]航空の神技に敵米英を膺懲、遂に壯烈な屍と散つた幾多護國の神鷲たちに感謝の誠を捧げると共に、われら六百五十萬島民たるものいよいよ航空決戰に必勝の信念を固め一機でも一人でも多くの航空報國民を前線へ送るべく今こそ總決起すべき秋である、いまや南溟の空を壓して日米航空決戰は日を逐うて苛烈となり、敵アメリカはここソロモンの空に航空機の總力を結集、ハワイ緒戰の慘敗を回復、戰略態勢を建直さんものと執拗なる反攻を續けると共に銃後戰力の破壞を目指して虎視眈々日本本土の大型空襲を企圖してゐる、すなはち南方共榮圈各地域は南支に對するゲリラ的空襲はともかく、近くは東京を距る二千キロ南方の南鳥島に、また北千島に相次ぐ大掛りな空襲を見てゐる、その企圖は何れもわが誇りたる空の護りに挫折せしめられたとはいへ、その意圖するところ輕視し得ないものがあらう、しかも敵アメリカはさきのケベック會談においても太平洋作戰第一主義を決定、本年の飛行機生產高は七萬臺、明年のそれは十二萬五千臺と號し、南の空から北の空から日本反攻の機會を窺ひつつあるとき、われわれは敵アメリカの空襲必至を今から覺悟すると共に航空決戰にもまた最後の勝利を確保するため生產の增强と乘員の養成に一路邁進しなければならない、この熾烈なる航空決戰下けふ四度目の航空日を迎へて本島でもこの日臺灣航空協會所屬機の記念飛行を始めとし、午前十時から臺北飛行場では殉職せる幾多將兵並に民間航空殉職者の英靈を追悼する慰靈祭が臺灣航空協會、日航共同主催で嚴修されるほか、午後二時からは遞信部會議室で交通局主催の航空功勞者表彰式が行はれ、[illegible]或は島內航空の[illegible]に又本島における航空思想の普及發達に寄與せる日航臺北支所第一運航所長石上大佐同氏ら九功勞者が表彰される、夜は午後七時から臺北市公會堂において航空協會主催島民奉公會後援で[illegible]文化研究會の出演による航空劇"赤道"が無料公演される、また午後七時十五分から約十分間長谷川總督は"航空日に當りて"と題して官邸より放送、航空決戰に勝ち拔くべく島民の奮起を促す等目下の最大急務たる航空機の大量確保と搭乘員の大量生產に邁進すべく、全島民の航空報國[illegible]に各種の航空記念行事が繰展げられる、いまや祖國からは米英擊ちて止まむの意氣に燃え、學徒青少年たちが航空決戰の第一線に續々飛立つてゆくとき、銃後のわれわれは國土を敵の空襲から護るためにも進んで大東亞戰爭に勝ち拔くためにも多數の飛行機とその乘員が絕對必要であり、今こそ[illegible]への飛行機と乘員の增强こそは實に銃後に課せられた最大責務であることを銘記し、優秀なる航空機乘員を多數送り出すことに總員協力邁進しようではないか（寫眞は航空日ポスター）

## 全國に多彩な繪卷

【東京發】大東亞戰下實史不滅の[illegible]を大空に記し完勝と敢鬪した幾多戰歿の英靈を讃へ日毎に熾烈化する空の決戰場にわれも續かんとする一億の決意を昂揚する第四回航空日は航空決戰[illegible]のけふ二十日[illegible]迎へるこの日、一機でも多くの飛行機をと一億の赤心を集めて陸軍へ獻納した愛國『全國民』號二百二十五機をはじめ海軍中央會、[illegible]等の各團體を通しての獻納機三百五十七機並に海軍への報國號全國學童小國民號始め七十機の命名式が午後一時から羽田飛行場、日比谷公園の兩會場で嚴肅に擧行され、式後[illegible]からの空中分列を展開する[illegible]、國民の前に現はし大空[illegible]を飛翔する、[illegible]全國各地の[illegible]が行はれ[illegible]のわが空の上に立てられた[illegible]、[illegible]して[illegible]された[illegible]、一方午前八時三十分には遞信大臣室で航空功勞者の[illegible]が、午後一時半から航空[illegible]各方面では地方[illegible]が行はれる外多彩な[illegible]が[illegible]けてこの日の意義を[illegible]る航空行事が繰展げられる

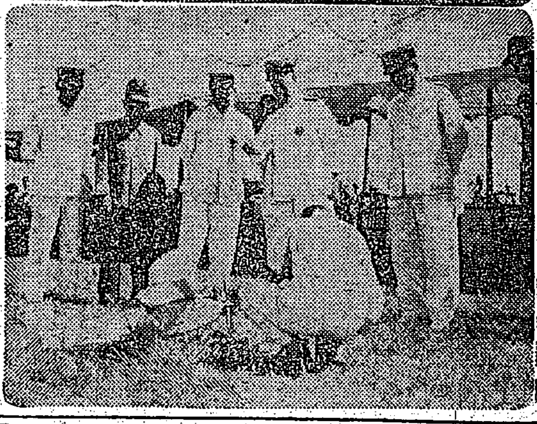
この他來賓席には伊藤海軍武官、[illegible]臺北市長等の顏も見え、[illegible]

## 綴る"好記錄續出"

### 「模型機飛翔大會」盛會

航空週間を飾る全島模型飛行機競技大會は臺灣航空協會主催で廿日の航空日に先立ち十九日臺北川端町の市グラウンドで盛大に擧行された、この日絶好の航空日和、午前八時から會場で機體の受付點檢が始まつたが、この日參加機は國民學校兒童のA級三十九機、G級七十五機、F級三十五機、一般のA級二十九機、G級二十七機、合せて百九十七機の多數に上り、この他に特別としてエンジン機十數機も參加、何れも會場を埋めた理想機のどれにも『國民皆空』への頼もしい意氣がみられた優秀機ばかりであり、[illegible]

◇…午前九時半開會式が行はれ國民儀禮ののち「皆さんも神鷲加藤建夫少將の遺志を繼いで敵米英の子供たちに負けないやう將來更に立派な航空機を作り、或は立派な航空兵となられて苛烈な航空決戰に勝ち拔いていただきたい」と伊藤[illegible]部長より[illegible]の訓示を代讀、引續き協會[illegible]より競技に關する注意があり、十時から競技が開始された、競技の號令一下、一齊にサッと大空を蹴つて舞上る可愛らしい模型機が一齊に大空に注がれる"揚がつた、揚がつた、素晴らしい"その歡聲がどつとあがる　長谷川總督は海軍大將の軍裝で來場、十一時大會場に臨場、[illegible]君の作つた模型機が"よく出來てるネ"と感心、[illegible]の成績はどうか"と質問、[illegible]子供たちの航空[illegible]に深い關心を寄せるなど、終始熱心に競技を見て[illegible]敢鬪する國民學校兒童たちに無言の激勵を送り正午退場したが



かくて[illegible]の午後は國民學校及び一般A級、國民學校F級、一般G級、F級、[illegible]エンジン機の順で進められ、國民學校兒童[illegible]何れも昨年の記錄を更新する好記錄をあげ、特に本大會の個人[illegible]に授與される[illegible]の榮冠は國民學校兒童A級、F級の優勝者として素晴らしい成績をあげた[illegible]（高雄支部）、[illegible]（高雄支部）の兩君が獲得、午後四時[illegible]、全競技を終了、引續き閉會式を[illegible]に[illegible]、會長代理伊藤遞信部長より入賞者（何れも五等まで）に[illegible]賞品並に[illegible]をそれぞれ授與して[illegible]した、大會成績は左の通り

### 國民學校兒童の部

◇A級個人　1一分五三秒五分の三　巽茂頭（高雄支部）、2黃周民（[illegible]）、3[illegible]、4[illegible]、5[illegible]（何れも臺中支部）

◇A級團體　1臺中支部四分二〇秒五分の二、2高雄支部、3新竹支部、4臺北支部、5臺南支部

◇F級個人　1一五分二〇秒[illegible]（高雄支部）、2王[illegible]（高雄支部）、3郭[illegible]（臺南支部）、4[illegible]（臺北支部）、5[illegible]

F級團體　1高雄支部一〇分四秒五分の四、2臺南支部、3臺北支部、4澎湖支部、5臺中支部

### 一般の部

◇A級　1五十三秒五分の二　[illegible]（臺北）、2宮地[illegible]（臺北）、3宮坂良雄（臺中）、4[illegible]（高雄）、5武井健（臺北）

◇G級　1一二分一〇秒五分の二　[illegible]（臺北）、2石井[illegible]、3[illegible]（臺中）、4竹山進一（臺中）、5[illegible]（高雄）

◇H級　1五分五四秒[illegible]（高雄）、2宮坂良雄（臺中）、3竹山進一（臺中）、4加藤[illegible]（臺北）、5[illegible]

## 制覇へ、熱戰

### 國防訓練競技會

[illegible]臺北州支部主催、第二回國防訓練競技大會は十九日午後[illegible]から州下各市郡代表の[illegible]、[illegible]で[illegible]式を擧行、[illegible]にして臺北市[illegible]、[illegible]は[illegible]で[illegible]、午後一時[illegible]を終了した、成績次の通り

◇相撲　1竹下忠次（臺北市）2[illegible]（同）3[illegible]（新莊郡）

◇柔道　1[illegible]（新莊郡）2[illegible]

◇劍道　1谷口[illegible]（臺北市）2[illegible]（臺北市）3[illegible]

◇銃劍術　（[illegible]）1石田[illegible]（臺北市）2竹島[illegible]（基隆市）3[illegible]

## 臺中圖が優勝

### 盤協支部對抗庭球大會

【花蓮港電話】[illegible]

---

# 海鷲主要都市を訪問

航空決戰下に四度迎へるけふ二十日の航空日に當りわが無敵海軍航空部隊は臺都はじめ島內重要都市訪問飛行を行ひ、ハワイ緒戰以來大東亞の空を壓して敵米英機の擊墜に、或は國土の防衞に[illegible]なき雄姿を見せ、大空こそ決戰場であると空から呼びかけ航空戰[illegible]へ六百五十萬島民の戰意昂揚を促す

---

# 學徒蹶起の秋ぞ今

## 三氏に聽く"飛檄の辯"

けふ廿日は第四回航空日だ、苛烈執拗なる敵國米英との間に連日連夜くり返されてゐる秋、征くべきは空だと次代を背負ふ若き學徒の愛國熱は日、一日と昂まり、陸鷲に、また海鷲にペンを捨て、[illegible]を抛げうちて進む雄々しき姿が到る處に見受けられるが、この意義ある航空日を迎へ、さらに"空征かば雲染む屍"この眞理を新たにして決戰時局下學徒のより一層の蹶起と決戰の大空への飛翔心を促すべく伊形督府航空協會參事、志波臺北一中校長、瀧澤臺北高等學校教授の三氏より"學徒よ航空決戰へ敢然とたて"との言葉を聽いた

## 大和魂發揮の秋

督府航空協會參事　伊形德一氏談

◇…航空決戰の勝利はますます[illegible]である、前線へ一人でも多くの飛行機を、一機でも多くの飛行機を送れとは今や國家の最大要請であり、至上命令であるが、青年學徒の[illegible]が[illegible]に今日のこの時局を認識してゐるかどうか、[illegible]に把握してゐるかどうか、[illegible]學生や、陸軍の操縱見習士官の[illegible]者は實に[illegible]をもつて[illegible]ふるの多數であつたとは新聞の[illegible]するところであるから多數學園青年學徒が今や祖國の熱情に燃えて決然蹶起したものであると更に感激に堪へぬところではあるが、全島十萬の青年學徒中新聞やラジオに現はれる蹶起學徒の熱誠に更に安堵と[illegible]を[illegible]して[illegible]する者はないだらうか

◇…試みに西南太平洋の地圖を按じ、ガダルカナルからレンドバへ、更にニューギニヤへとの敵の執拗なる反攻を見よ、開戰劈頭、[illegible]敵のわが作戰に屈辱的挫折を强はれた敵が頹勢の挽回に如何に努力的であるかを知るであらう、諸君、單にこれを傲慢なヤンキー式の一時的な企てなどと絕對輕視してはならない

◇…この敵の消耗戰術に對して若し倒りに精鋭や勇敢の[illegible]が十分[illegible]もまた喰ふか喰はるるかのこの戰局を自覺するが故に多數の學生がペンを抛つて遠く西南太平洋の飛翔へ出擊したのではないか、しかも敵はその莫大なる生產力を恃みとして叩かれても叩かれても更に新勢を增加して反擊を企てつつあることは諸君の知る通りである

でないとすればこれこそ敵の術中に陷るものといはねばならぬ、敵に十萬臺の生產力あればわれもまた同數の生產を確保して戰局を[illegible]なものとしなければならぬのだ、眞に一にも生產と乘員の補給が彼の[illegible]に依存するやうなことがあれば如何に第一線の勇士が血みどろの奮戰として戰局の戰果を擧げ得たとしても戰局そこに戰局の進展もなく、まかり間違へば逆轉の危險があることを銘記せよ

◇…アメリカの誇張した生產高は決して天文學的數字の羅列ではない、しかも歐洲戰局の好轉につれて彼がその余力を太平洋戰線に向けることもあり得るとすれば、米年はアメリカと同數の十數萬臺の飛行機とこれに要する數十萬の乘員、百數萬の整備員の補充が必要であり、ここに單に[illegible]の[illegible]者をもつて足れりとせず、更に一般青年學徒の蹶起を促したい所以がある

◇…由來國家の危急に立つてこれを打開する原動力となり、前驅となつたものは必ず純眞なる青年であつた、しかも諸君の中には萬邦無比の國體に培れた醇乎たる愛國の熱情がたぎつてゐる筈である、諸君は[illegible]に[illegible]の指導に引摺られるやうな青年ならざる青年であつてはならぬ、[illegible]多き諸君の止むに止まれぬ大和魂が決戰の大空に火と燃ゆることを希ふこと實に切なるものがある

## 拂拭せよ、舊觀念を

臺北高等學校教授　瀧澤壽一氏談

◇…今次大東亞戰爭において米英を擊滅するためには一番[illegible]中[illegible]が[illegible]な[illegible]にゐると思ふ、そのためには空中勤務員の[illegible]確保が必要だ、現下の高等專門學校以上の學生はこのことを深く認識し、同時に必然的に自らの心から生れてくる空の戰士への[illegible]が刻々として起つてくるのが當然のことだと思はれるが、これが案外[illegible]不十分である、また大空に、飛行機に對する理解及び共鳴が足りぬ、飛行機に乘ることが特殊なことである、危險なことであるといふやうな觀念がまだ〳〵依然としてあるものと思はれる、私は此際[illegible]一掃是正すべきであると思ふ、このやうな觀念を現在學生が持つてゐることは[illegible]に[illegible]すべきことである

◇…私は高專以上の學校にはグライダー教育を當然正科にすべきであると考へてゐる、グライダーに乘つて大空を飛翔した時に初めて大空への興味を抱き、飛行機に對する認識も必然的に培はれて行くと思ふ

◇…アメリカの生產力は恐るべきに非ず、なぜならば生產力には人的にも物的にも限度があるからだ、それよりも私は日本の青年學徒、ことに高專以上の學徒の依然たる[illegible]精神の缺如を恐れるものである、勿論アメリカは恐るるに足らず、我々が我々の持つ最大限度の生產能力を[illegible]して敵に肉薄し、それに加へて一機でよく二機、三機、五機を屠る[illegible]と[illegible]を[illegible]して突擊するならばその前には[illegible]にも火を吐いて[illegible]て行く敵機をみるのみである、

しかしそれがためにはこの時局下學徒にまづ"日本人"でなければ持ち得ない前の氣高く强い精神が培はれなくてはならぬと痛感する

◇…私は現在の高專以上の學徒に甚だ多くの不滿を持つてゐる、日本人たることとの有難さを[illegible]にひたりそれを行動に現すことの出來得ない學徒が一人でも存在してゐたらよからうか、享樂的な笑ふべき自己滿足の自尊心に包まれたヤンキーに輪をかけたやうな言動を行つてゐる學徒が現在一人でもあるとすればこれは實に[illegible]ふべきことである、これは斷じて誇張でもなく、また主觀に過ぎないものでもないことを明言する

◇…現下の國家にあつて親がかへつて子供に教へられるといふ親御さんが少くないと思ふが、私は現在の親はこれだけに止らず、自ら進んで認識して[illegible]一層子供の教育に心を入れあくまできびしく、また温かな精神をもつて子供を訓育し、國家目的にすぐにでも[illegible]へることとの出來る子供をつくりあげて頂きたいと思ふと同時に、[illegible]

## 敵學鷲を叩き潰せ

臺北第一中學校長　志波俊夫氏談

◇…大空を征服するといふことが現在の解決すべき最大課題であ[illegible]

[illegible]家はこの際今までの既成的教育理念を抹殺して生れかはつた態度で眞劍にもう一度生徒・家庭の現在の在る樣、在るべき姿に注目して反省を行ひ自ら陣頭指揮にたつて[illegible]きたいと思ふ、[illegible]ふべきものは教育家の[illegible]である

◇…現在[illegible]されてゐる[illegible]において[illegible]の航空戰力が擴充强化されこの優秀な力をもつて大戰果が各地域にあげられ、また敵の[illegible]が次々と[illegible]されて行くのを見るとき[illegible]の頼もしさを痛感するものである、敵アメリカの生產能力は今年が[illegible]上だ、一方帝國の生產能力は共榮圈が[illegible]確立されて行くに伴つてます〳〵尨大になつて行くことと心强く感ぜられ明後年頃には素晴らしいものになると思ふ"[illegible]なくして何の學問ぞ"といはれる際、學徒は今までの批判的精神を抹殺して自ら猛然とたつて大空に雄飛すべきであり、また父兄も、また教育家も大東亞確立の理念に燃え、一人でも優秀な學徒航空戰士を送り出すべく努力されんことを切望する

ものと考へてゐる、我々は現在でも絕對に敵にひけを取らぬ航空戰力を確保してゐるのであるから、ただ量だけを頼みにして突擊して來る米英の攻擊は全然問題にならぬことである

◇…しかし航空戰の勝利には絕對に優秀な航空機と乘員によつて決定するものである、航空士は[illegible]も[illegible]であるが、それよりも訓練と訓練が一番必要だ、一死報國の精神即ち大君の爲命を捨てるといふことを唯一つの樂しみに、また名譽として[illegible]敢行して行く皇軍の乘員と敵米英のスポーツ的スリルを味ふといふ乘員とは根本から異なることである、しかも訓練そのものが大君の爲にこそ死ぬか……必殺の精神に燃えて行はれるのだからこれ以上の强味はないと思ふ

◇…"死して後止まず"私は全日本人がこの精神であると思ふ、[illegible]ならば死んでゐる場合にも操縱桿を握り、また最後の一滴まで血汐を流しながら活躍して[illegible]つてくる、これが本當の崇高なる大和魂だと思ひます、この立派な大和魂は二千有六百年の悠久なる皇國の歷史がつくりあげた大和民族の精神であるが、これを[illegible]きあげたものは[illegible]の賜ものである、優秀な乘員になるのは日本人なれば[illegible]の體力と智能さへあれば、誰にでもなれるといふことを確信する

◇…私は日本の中等學校以上の學校には正科として初級グライダーの訓練を[illegible]とか教練の時間に全員に教へるべきだと思つてゐる、これによつて大空への飛躍を培ふと同時に協同一致、周密なる注意力、忍耐力、沈着[illegible]

◇…私は現下學徒が大空へ雄飛すべき時の言葉として……敵アメリカの學生が航空乘員となり南太平洋方面においては航空兵の七割を占めてゐると聽いてゐるが、我々學徒は絕對にヤンキーの學徒に負けてはならぬ空の戰力を[illegible]すべきである、現在の[illegible]を[illegible]すれば敵以上に現在の學生は考へもし、また實行もしなければならぬ筈である、戰爭そのものが航空戰をもつてはじまりこれによつて敵をたたきつぶし、それより諸作戰が遂行されるのであるから勝利を得るには絕對に空の支配、空の制空權を得ることが先づ第一條件である、學徒は[illegible]起つて[illegible]奉公すべきである、學徒としての[illegible]の[illegible]を考へられるが、この非常時局下戰爭遂行の大理想を考へれば全學徒がペンを捨て[illegible]となつて空の決戰場へ[illegible]する日の一日も早からんことを心待に待つてゐるものである

---

# 大東亞の大空を"日の丸翼"で蔽はん

## 擧れ、航空戰力の增强へ

寺島遞相放送要旨

【東京發】寺島遞相は二十日の第四航空記念日を迎へるに當り十九日午後七時から「大東亞空を蔽ふ」と題し左の如き放送を行ひ日米の決戰[illegible]を闡明にして敵が航空機を主力兵器としてその數をもつて挑戰し來る以上、わが方においても一機でも多く一人でも多く乘員を養成し各般局面に立つて敵機を[illegible]倒、大東亞の天地をわが航空機をもつて蔽ふ日の一日も早からんことを期待、一億國民の奮起を要望した放送要旨次の通り

敵米國は昭和十八年中に約二百萬名の航空要員を揃へると宣傳してゐる、斯の如く敵が數をもつて挑むならば、我もまた數をもつてこれに應ずるの戰術と用意を持つ必要がある、かの[illegible]以來に染む屍となられた荒鷲は何れも[illegible]に[illegible]く若鷲の[illegible]て止まむ[illegible]に無限の信頼を託して安心して逝かれたのであるが、この英靈に[illegible]ゆる途は一人でも多く青少年が優秀なる航空要員となり、精神力において技能においても敵を凌駕するばかりでなく、數においても敵を壓倒することにある、敵米國は開戰當初において既に大なる痛手を受けたため最近では[illegible]航空機をもつて來攻するのみである、それだけに航空戰力の充實には國を擧げて必死となり、尨大なる工業施設と資源とにより今年は十二萬五千臺の航空機を生產するといひふらしてゐる、勿論これは敵の宣傳であるが、わが國としてもこれに對抗する必要がある、幸ひわが國の航空機製造工業は一般重工業部門の中で比較的早くより發達され、幾多の努力を拂ひその進步も著しかつたのに加へて大東亞戰爭[illegible]においては特に[illegible]に[illegible]を[illegible]らした結果、敵米英が[illegible]もしなかつた[illegible]航空機が續々と生產されてゐるのである

しかしここで注意せねばならないのは、元來航空機工業は一國の科學技術の粹を集めて出來上つてゐるものであるからその科學技術の進步如何によつては今日の最新鋭機もあすは舊式となつてしまふのである、[illegible]によると[illegible]一基の發動機の馬力は大體一千馬力位であつたが今では二千馬力の發動機を有する航空機が盛んに活躍しており三千馬力、四千馬力の發動機まで研究されてゐる現狀である、またわが本土空襲を狙つての新しい長距離爆擊機の製作、或は成層圈飛行の如きも敵米國が相當以前より研究實施してゐるといはれるだけにその來襲も無視することが出來ない、これ等性能の改良進步に對してはわが國の科學者、技術者も[illegible]されしかも不撓不屈の精神力をもつて血の滲むやうな研鑽努力を重ねてゐるのであるから[illegible]に優れた航空機が必ずや製作されるものと私は信ずる

今日の戰爭においては航空機が[illegible]用としての[illegible]もまた見逃してはならない、[illegible]においても[illegible]共に落下傘部隊やグライダー部隊が直接に作戰場にて功績を樹ててをり航空機によつて人員や資材を戰線に[illegible]る重要性はますます增加してゐる、わが國民間定期航空としても[illegible]は固より、更に南方諸地域へ翼を伸ばし活潑なる[illegible]をしてをり、これ等の民間航空乘員の中には明日の航空[illegible]たらんとし中央、地方に[illegible]り空の[illegible]に功績を殘されてゐる者も相當あるが、一面大東亞戰爭の礎へとして既に[illegible]となられた英靈に衷心哀悼の誠を捧げる次第である

その外大空を飛翔する華やかな乘員の[illegible]にあつて或は航空機の[illegible]に、或はまた航空機との連絡通信に、或は[illegible]に[illegible]し[illegible]として働く地上勤務員の仕事は地味な中に極めて重要なものである、私はこの機會にこれ等地上勤務員諸君と共に[illegible]げた航空科學者、技術者並に生產戰士諸君のご苦勞に對し衷心感謝の意を表すると共に尚ほ一層のご[illegible]を切にお願ひする次第である

大東亞戰爭も將に航空決戰の樣相となつた、この際一億國民の努力を航空戰力の充實に結集し、この戰爭を戰ひ拔いて大東亞の大空をわが國航空機をもつて一ぱいに蔽ふ日の一日も早く來たらんことを皆樣と共に希ふものである

强力な榮養劑・胃腸も丈夫に！
カネ　ますらを
三百錠　一圓八〇　千錠　五圓四〇
[illegible]食藥化學研究所
東京都品川區大井[illegible]町
（販賣店　株式會社　中西武商店）

## ○○部隊の創立記念祭

【嘉義電話】本島南門の備へには[illegible]として[illegible]過去半世紀に亙り輝かしき功績と傳統を有する嘉義在住○○部隊では決戰下第四十九周年の意義ある記念日を迎へて十九日午前九時から營內練兵場で嚴肅なる記念式典を擧行した、式場には○○部隊長以下部隊將兵、大須賀嘉義司令官、竹中市長、大江[illegible]五郎氏その他官民多數列席、式後[illegible]で[illegible]競技、相撲、水泳の大[illegible]を[illegible]し更に午後からは[illegible]兵[illegible]が繰げられた[illegible]で[illegible]る[illegible]、[illegible]兵一同は終日歡[illegible]ある記念日を送ると共に明日への[illegible]へを固めた

---

今日の映畫
大世界　台灣劇場　新世界　芳乃館　芳明館　城內映劇　萬華劇場　大平館　第三世界　基隆・蘭陽地區　中央劇場　基隆世界館　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座
宗州合同興業會社
東寶國際館　基隆劇場
[illegible]

株式名義書換停止
[illegible]
新竹州自動車運輸株式會社

會葬御禮　豐田澄子

會葬御禮　森田俊介

會葬御禮　廣田爲吉

父乙彥葬儀ノ際ハ御會葬被成下有難ク御禮申上候
昭和十八年九月十八日
於保定彥
親戚一同

妻ハナ儀病氣療養中ノ處本月十八日午後六時五十五分死去致シ候間此段謹告仕候
[illegible]
昭和十八年[illegible]
臺北市大正町二ノ一〇
夫　小林作雄
男　[illegible]茂雄
[illegible]
中村[illegible]
三巻俊夫
藤田倶次郎
伴野喜四郎

大工募集
人員　大工及木型工各一名
條件　[illegible]
面談日　九月二十五日午後三時[illegible]
東京芝浦電氣株式會社臺北工場

勝ちぬく誓　いざ實踐だ！
モーター・發電機・變壓器・扇風機
電熱器・アイロン・各種スヰッチ・ヒューズ類・其他一般電氣器具・捲替並に修理請負
修理專門　柳川電氣商會
臺北市永樂町五丁目一八五
電話五一四三番

社債償還公告
[illegible]
昭和十八年九月
鹽水港製糖株式會社

稅務　財務　計理士　商學士　海野正造
[illegible]

齒科　澁谷醫院
臺北市新起町一ノ三
電話二八九番

齒科　高嶺醫院
臺北市大和町三ノ[illegible]
電話六四七四番

石堂　事務　社員　產婆　產婆　保姆　洋裝　洋裁　洋裁　小波　アザミ　生徒　生徒　見習　見習　看板　毛深　ミシン　特許　冷藏庫　京染　寫眞　京染　新古　引越　引越　宅　蟲研　レコード　寫眞　投資　全集
[illegible]

# 本島出身、熱血三鳥人

## 滑空機界に新機軸

## "光式第二型"で一躍著名

【新竹】勝たねばならぬ血戰場へ一人でも餘計に優秀なる乘員と、一機でも多く勝れた航空機を送れと決戰の秋に迎へる意義深い第四回航空日に新竹市が生んだ少年航空兵の如き、軍關係以外に民間航空界において航空機の製作、操縱及び機關の三部門にそれぞれ挺身活躍してゐる熱血三本島青年を紹介しよう【寫眞は上から葉啓聰君、彭玉塡君、周宜得君】

**葉啓聰君**（二六）表町出身 現大阪府大阪市西淀川區大和田町福田輕飛行機製作所製作部長

同君は新竹中學校から昭和十三年[illegible]工業の機械科を卒業、同校在學中から輕飛行機グライダーの製作や設計の研究に心血を注ぎ中でもグライダーの尾翼の理想的[illegible]改良とその[illegible]な改良論文が、たまたま昭和十三年[illegible]のため來臺中の前記福田[illegible]飛行機製作所社長の[illegible]に認められ、卒業するや直ちに同社の製作部に迎へられて製作に從事、翌年その技能が買はれて以來製作部長として凡ゆる方面にその能力を發揮したのである、同君の設計製作にかかるもので最も誇るべきものは昭和十六年八月大阪第二飛行場で試驗飛行を行つた「光式研究機第二型」で全國の[illegible]を集めグライダー界の新話題を提供したものであつた、即ち同機は日本式輕型につぐモーターグライダーとしてわが國第二番目の試作機で低翼片持式の形式を採り入れ、グライダーの新機軸を施いたものであつた、昭和十五年末から[illegible]を行ひ自信を得て同十六年二月以來製作を續け八月に完成した、スコット十六馬力發動機、全長六・九五メートル、翼長一三メートル、主翼面積二二・三平方メートル、上昇高度千五百メートル、航續距離五百キロ、特殊飛行自由自在といふやうな素晴しいもので性能テストの結果好成績を收めたので立派に東京大阪間[illegible]が出來るといふ折紙がつけられたのであつた（當時更にこの「光式研究機第二型」の試驗飛行をめぐつて現行法規の不備が指摘され同機がグライダーか輕飛行機かといふ興味ある問題を生んだ程であつた）といふ、その後も現在、[illegible]共に研鑽を重ね今では同會社の[illegible]陣の一人で、種々の專門雜誌にもその研究の一端を發表、常に人々を驚嘆させてをり、また內閣の技術委員としての[illegible]してゐるが、葉君の存在は正に新竹市が全島に誇り得るものの一人である

### 操縱に卓技謳はる

**彭玉塡君**（二三）新竹市南門 現大阪市西淀川區大和田町福田輕飛行機製作所操縱教官

同君は昭和十年京都市[illegible]新竹中學に入學したが小さい時から飛行機好きの氏は翌年の春に同中學を中途して東京の日本飛行學校に入學、十二年三月正科卒業と同時に操縱科に入り、十四年[illegible]山梨航空[illegible]操縱科に[illegible]の操縱教官をなして翌十五年一月早くも二等飛行機操縱士技能證明書を下付され、二月には二等飛行機操縱士免狀を[illegible]した、その年の五月に歸郷、しばらく臺灣國防義會に勤務したが空への憧れ[illegible]なものがあつて八月再び母校の山梨航空技術學校に戾り同校の操縱科教官を拜命したが、同年末頃に大阪市の福田[illegible]に轉じて今日まで同社で操縱指導に[illegible]してゐるものである、前記の葉君と共にひも[illegible]つて同社で製作及び操縱[illegible]にそれぞれ奉公してゐるのは何[illegible]

一人である

[illegible]に同君は昨年大阪で結婚、夫人操子さん（二〇）もグライダー界の女流新人で一等滑空士として女性の滑空[illegible]に[illegible]努力を續けてゐる、郷里の家には父[illegible]氏（[illegible]）ほか[illegible]人の兄弟がある

### 整備部門に活躍

**周宜得君**（二[illegible]）新竹市南門町出身 現臺灣國防義會航空部[illegible]

[illegible]

---

# 送らう、ヒマを○○○○

## 栽培に供出に總進軍

**羅東郡**　【羅東】羅東郡における愛國蓖麻赤誠運動週間は二十日から一週間に亘り實施されるが、實施要項は次の通りである

一、國民學校にありては本週間初頭において一齊に蓖麻の重要性を敎示すると共に校內の空閑地運動場周圍等を利用し一區劃以上（百七十六本）播種をなすと共に校內に栽培發育せる蓖麻の管理をなし四年生以上を總動員し豫め關係方面と連絡してそれぞれ部落道路に栽培しある蓖麻の子實を採取及び病蟲害の驅除に[illegible]せしめる

二、各保甲、農業組合、奉公班、は保甲民、組合員、班員を動員し指導員指導の下に[illegible]面積（二分地千七百五十本）以上を出來る限り道路上、空閑地に栽培する

三、各農家及び非農家はそれぞれ各街庄より割當られる[illegible]供出數量確保のため老幼男女を問はず家族總力を舉げて國家の重要なる蓖麻の栽培管理に努め農家は一戶七十本以上、非農家は一戶十本以上を栽培する

**員林郡**　【員林】一滴でも多くの油を前線に送りませう、一粒の蓖麻子でも無駄なく出しませう、と愛國蓖麻の栽培に供出に大童となつてゐる員林郡の蓖麻子供出運動は素晴らしく[illegible]丁吉洋郡守は郡下十一萬郡民はよく時局を認識し何れも熱心に栽培し手入をしてその生育狀況も百パーセントの好成績を示してゐるが、非[illegible]

**東港郡**　【東港】三十萬斤を本年度生産目標とする東港郡の蓖麻栽培運動は十一萬郡民の時局認識と郡當局の指導宜しきを得て一日より十日間は蓖麻栽培週間として郡下における農家、非農家を問はず一齊に蓖麻播種を完了、その栽培狀況を視察すべく十五、六の兩日間[illegible]郡守、三課長、視學は蓖麻栽培推進隊として郡下一圓に亘り視察を[illegible]

[illegible]に參加しつつあり、去る九月十八日現在で早くも三萬斤を突破し、勝ち拔く員林郡民の赤誠を遺憾なく發揮したが、なほ引續き[illegible]收中なので月末頃までには六萬斤に上るであらうと、更に郡下各街庄の[illegible]成績を[illegible]、永靖庄が首位で約八千斤位、[illegible]街が最も[illegible]であるが二十日から本格的[illegible]に乘り出す

農家の空閑地にはなほ栽培の餘地があるので今後はたとへ尺地、寸土と雖もこれを利用し、それぞれ蓖麻を栽培して生產目標に到達するやう郡民一段の努力あらんことを要望してゐると語り一段と郡民を激勵した

**屏東市**　【屏東】屏東市若松區男女青年團員五百餘名は十八日午後二時より若松町一丁目より里港に通ずる道路兩側[illegible]に愛國ヒマ[illegible]作業をなし男子[illegible]女子[illegible]の[illegible]〇〇ヶ所[illegible]

### お山も總動員

【新竹】航空決戰に勝ち拔くため油を少しでも餘計に前線へ送らうと今全島的に行はれてゐる愛國蓖麻栽培運動に呼應して新竹州[illegible]地の高砂族達でも平地の人に負けてゐてはならぬと[illegible]の協力を得て大々的な蓖麻栽培運動を繰展げることに決定した、特に平地より更に一歩を進めて非農家一戶に七本、農家に三十本、[illegible]及び[illegible]に七百本以上の[illegible]をもつて[illegible]することになつてゐる

---

## 二十萬圓に達す

### 東港郡民の赤誠（大東亞戰爭勃發から八月末日まで）

【東港】高雄州東港郡においては赫々たる大戰果を擧げてゐる皇軍將兵に對し十一萬郡民の感謝感激は國防獻金、恤兵金に具現、或は獻納機となり、陸海軍獻金となつて[illegible]隊に[illegible]しい[illegible]が[illegible]されてゐるが大東亞戰爭勃發の昭和十六年十二月八日から八月末日までの國防獻金及び恤兵金は合計十九萬四十九圓九十八錢の多額に達し一般郡民の赤誠を遺憾なく發揮し[illegible]を[illegible]せてゐる、なほ獻金の內譯を見れば左の通り

△國防獻金、陸軍六萬四千七百三圓五十一錢、海軍九萬九百八十四圓三十四錢

△恤兵金、陸軍一萬六千五百六十九圓六十八錢、海軍一萬七千八百九十[illegible]圓四十五錢

---

## 繰展ぐ熱戰敢鬪圖

### 士氣旺ん國防訓練大會

【高雄電話】愈ふ決戰の意氣を[illegible]し[illegible]なる決戰下にますます國防力の強化充實を[illegible]べく高雄州皇奉州支部主催で十九日午前九時から高雄中學校で第一回國防訓練大會を開催した、此日會長坂口知事をはじめ[illegible]司令官ほか來賓並に大會[illegible]、州下各市郡より[illegible]をはじめ青少年、學徒並に一般成人等選り拔きの[illegible]士が必勝の[illegible]を胸にこめて[illegible]し、この外に[illegible]を[illegible]る[illegible]が押寄せて[illegible]からいやが上にも[illegible]、まづ國民儀禮の[illegible]、選士代表の力強い宣誓があつて同十時から競技を開始した、午前中は成人相撲、[illegible]、第一段の銃劍術、午後からは少年相撲、[illegible]等の[illegible]が[illegible]

[illegible]が次々と行はれ、ここも[illegible]と[illegible]の[illegible]には「[illegible]」の氣魄が[illegible]、各[illegible]も[illegible]された、かくて午後三時[illegible]を終了、閉會式にうつり[illegible]、會長挨拶、萬歲三唱あつて三時半[illegible]終了した、成績次の通り

△成人相撲　高雄市甲

---

## 本瀬さんを起用

### 五結庄の增産助役に

【羅東】決戰下における食糧增産とその[illegible]作物を[illegible]するため全島各地では[illegible]を[illegible]してその活躍を期待してゐるが羅東郡では五結庄に[illegible]助役を[illegible]くことになり、郡ではかねて慎重に人選中のところ同庄の[illegible]四百名、羅東郡本瀬[illegible]氏（[illegible]）を[illegible]と決定、十八日午前九時[illegible]郡守室で辭令を交付した、式後[illegible]引率き同庄で大串郡守、田中、小池、山下の三課長及び木下[illegible]庄長を交へ今後の活動について種々懇談を遂げた、本瀬氏は次の通り抱負を語つた（寫眞は本瀬助役）

私は幼少の時から農業に從事してもう四十餘年になつた、增產助役を引受けた以上今後とも各位の指導協力のもとに過去の經驗を生かして大いに努力する覺悟です、農家を[illegible]させるには指導者自身も鍬を執り[illegible]をこめて指導して行かなければならぬ、この見地よりまづ各部落に奉公[illegible]を[illegible]してその部落の青年層をして[illegible]かり訓練すると共に老人層に向つては時局の認識と農民精神の涵養に力を入れ[illegible]化を理解させて下から盛り上る[illegible]

---

## 桐材晴れの應召

### 航空機用材に颯爽登場

【臺中電話】全國にその名を謳はれてゐる臺中州竹山郡桐材は時局の脚光を浴びて決戰下米英擊滅の[illegible]航空機用材として近く晴れの應召をすることとなつた、すなはち州では天候その他條件を利用して[illegible]〇〇千本[illegible]と大規模な[illegible]林をなしその[illegible]桐材は桐と[illegible]出、[illegible]下駄その他[illegible]として[illegible]されてゐたが、進んで[illegible]の[illegible]から航空機用材として[illegible]であるとされてゐるので竹山郡では郡下における成熟した〇〇千本[illegible]を選定、航空機用材として應召させることとなつた譯である

---

## ふけらか解除

### 魚介・野菜等の搬出

## 油斷は禁物

### コ疫終熄　警察當局談

【高雄】高雄州のコレラは[illegible]と[illegible]を[illegible]した[illegible]態に[illegible]なつたので今まで[illegible]してゐた海水使用、生鮮魚介、蔬菜類の搬出[illegible]、漁業類の搬出を二十日から解除することとなつた

[illegible]たが、有に[illegible]が本日をもつてこれを解除することになつたのである、しかしながら一部[illegible]に關する州令は未だ廢止になつてゐないのであるから十分注意を要することは各面で特に心配してゐるところの防疫當局として[illegible]の[illegible]が漸次解除され、平常に復しつつあることによつて生ずる心の油斷である、生物や[illegible]

[illegible]で[illegible]の[illegible]によつて[illegible]にかからぬやうに注意してもらひたい

## 堆肥切返しに

### 埤頭庄民擧る

【北斗】[illegible]なる[illegible]の[illegible]に[illegible]し北斗郡[illegible]では"堆肥[illegible]"を[illegible]として來る十九年[illegible]用作[illegible]に[illegible]く[illegible]とも[illegible]二萬斤を[illegible]に[illegible]し[illegible]二十萬郡民は[illegible]に[illegible]を[illegible]してゐるが[illegible]において最も成績良と目されてゐる埤頭庄第四部（[illegible]）は早くも去る六月十日から[illegible]までを第一次[illegible]として[illegible]の[illegible]により[illegible]をもつて[illegible]二百五十萬斤の堆肥[illegible]したので七月中[illegible]し[illegible]の堆肥切返をなした【寫眞は山をなす堆肥に對し[illegible]の切返作業狀況】

---

### 遺族を弔問

陸相代理、吉田臺南兵事部長

【北港】臺南州北港郡出身大陸[illegible]せる[illegible]の遺族弔問のため陸軍大臣代理として吉田臺南兵事部長は十七日來郡島羽郡守の案內で北港街[illegible]に弔問、終つて午後一時から郡役所會議室において島羽郡守、[illegible]次の如く[illegible]を[illegible]した

△[illegible]　△[illegible]佐野武雄　△[illegible]　△[illegible]

### 勞務動態調査　事務打合會

【彰化】彰化市では[illegible]は勞務動態調査に[illegible]するため[illegible]十一日午後四時から市會議室にて[illegible]の下に事務打合會を開催する

---

○・ラジオ

[illegible]

⦿第一放送

◇六・四〇　[illegible]　◇七・二〇　[illegible]

◇七・五〇　[illegible]

◇八・〇〇　[illegible]

◇九・〇〇　母よ子等を大空へ[illegible]

◇一〇・〇〇　幼兒の時間（[illegible]）ソラノヒマル

◇一一・〇〇　[illegible]

⦿第二放送

◇六・〇〇　少國民の時間（第一）[illegible]

◇九・〇〇　[illegible]

---

### 井原警察部長　山地を初巡視

【新竹】井原新竹州警察部長は二十日から五日間の豫定で竹東大溪兩郡の山地を初巡視する、日程左の通り

△二十日竹東△二十一日サカヤチン△二十二日井上△二十三日上巴陵△二十四日角板山經由大溪

### 大越宜蘭郡庶務課長榮轉

【宜蘭】昭和十七年一月臺南州から宜蘭郡庶務課長として赴任以來[illegible]郡民[illegible]してゐた大越宜蘭郡庶務課長は[illegible]の異動で文山郡へ榮轉と決定したので十八日各方面へ挨拶廻りをした、なほ廿日午前九時三分宜蘭驛發で新任地へ赴任する

### 防空監視哨員に慰問金

【高雄】[illegible]日夜空の任にあたつてゐる監視哨員に[illegible]して旗山[illegible]、[illegible]信用組合、[illegible]では各五十圓宛を本社旗山支局に[illegible]の手を經て高雄支局に慰問金を[illegible]方を依賴してきた

**本日小說休載**

---

結核療法の新道

肺結核、肋膜、腹膜

[illegible]

オネドラミン

[illegible]

---

# 戰爭完遂と生活

## 絕對不動の足場に立って

大日本婦人會臺灣支部理事　副見喜久子夫人談

戰爭が日を追うて熾烈になりつつある現在、日本國民各階層より一層の[illegible]な信念を持ちそれをただ一つの形にのせ、何處までも押し通すところに勝利があり、この國際情勢のただならぬ渦中に搖ぎなき信念を持つ心構へ、つまり家庭生活へ[illegible]の[illegible]してゐる[illegible]を如何に運行す可きか、主婦の[illegible]戰爭完遂に是非持たねばならぬ話を聽かう（寫眞は副見夫人）

…先…頃…　イタリアのバドリオ政權が米英に對して無條件降伏を承認したといふニュースを聞きました時、意外な[illegible]のことか、また敵の宣傳謀略が如何に恐ろしいかを思ひ、[illegible]といふ[illegible]して敗けない國民不拔の精神を國民自身がそれぞれ、持たねばならぬことを痛切に感じました

夫には職場に出て働く人、家庭にあつて家事にいそしむ人等銘々の面に働いてゐる各々の持場がある譯で御座いますから、自分の任務にまつしぐら、全能力を注ぎ右顧左眄せず、[illegible]

…東…亞…　のため大戰爭完遂に全力を注いでをりますのもこの…今[illegible]が[illegible]との[illegible]でありますが、計が必要[illegible]との[illegible]であります

この際よく生活の設計といふことが言はれます、私達の生活には設計がなければなりませんが、せうか、それは斷じて[illegible]せねばなりません

って生き拔かねばならないのです、よく日和見主義といふ言葉があります、別段これといつた目標もなく、だらく\と利につく日を過すのですがこの樣な人もつて結果と爲す[illegible]を指してゐるのであります、設計といふこともそれを遂行し、生活の設定は國本の大道を指し、これを指針の設計とも名づけられませう

では私達のおくる日々の在り方を何によつて動かすかと申しますと、これはとりもなほさず生活の技術であるといはれます

この技術を運用する中核體を爲すものは、日本國民である[illegible]に[illegible]

然として生きる[illegible]であります、上天皇陛下に歸一し奉つた一億一心の心持で、勝ち拔く生活の[illegible]をどのやうに生かすかにかかつてゐます

…佛…敎…　に謂ふところの苦樂一切の因はみな己といふ自分に發するのだと申します、努力せねば實は結ばれないのでありますから、己の立つところだけは[illegible]な[illegible]も入れさせない[illegible]な[illegible]所詮生活の技術をもつて生かされなばらぬと思ひます、平出大佐のお話によりますと

戰場にある勇士の方々は或る場合孤獨を感じられるさうでありますが、その場合祀つてゐる自分達と同じ方を向いて進んでくれる

…婦…人…　があると、とても力強く感じて戰ふことが出來るのだとありました、これをみても婦人

[illegible]が[illegible]役目がどれ程大きいかを察へさせられます

また敵米英が今や自分達が築れかかつてゐた米英流儀が[illegible]の[illegible]になるのに氣づき、大いに自慢して、それを捨てつつあるとかの由であります、私達もうかうかしては居られないのであります

もつとも日本人には彼等に持つことの出來ぬ神國の子孫だといふ[illegible]りやかな傳統の強みがあり、決して中途で折れてしまふやうなだらしなさはありませんが、ただ相手は[illegible]に物を言はせ[illegible]を[illegible]もつて日本を屈服させやうとしてゐるのでありますから、私達も斷然これに敗けることなく、自分自分の職分にわき目をふらず[illegible]しまして、どの樣な[illegible]に[illegible]しましても安心して政府を信頼しこの一大決戰の完勝を期さねばならぬと思ひます

---

## 戰時下と

## ドイツの演劇

### 愛好される古典劇

戰爭第四年目に入つて以來のドイツでは演劇生活の方面で[illegible]戰爭が一層強化されつつあるのは[illegible]のことであるが、國民があまり緊張し過ぎて[illegible]を失つてはならぬといふ點[illegible]の心遣ひから、演劇を愛好する國民の要求に應じて十分の[illegible]を[illegible]らず演劇[illegible]の[illegible]助には少からず力を入れて

ゐる

劇場の數は、一九四一年には野外劇場、巡業劇場等を含めると全部で五百六十五劇場であつたものが、一九四二年には五百七十七劇場と[illegible]つて增加を示し、劇場の數上演を見ても、昨年度の平均は三十三萬一千二百八十七枚[illegible]上り、大部分の劇場では「本日賣切」の掲示を出す[illegible]の盛況を呈してゐる、この戰爭中には[illegible]制を布いてゐるクラカウ、レンベルグ、ルブリン、ワルシャワ等の劇場や、ヘーグ、リルレ、オスロー、レーヴァル、リガ等の占領地所在の劇場は含まれてゐない、この[illegible]上昇だけから見ても、演劇が如何に統後ドイツ國民の[illegible]として重要な地位を占めてゐるかを[illegible]ことが出來る、しかも、これら[illegible]劇における上演種目を見ると、その大部分が[illegible]な古典劇であつて、[illegible]などは殆どかへりみられないといふのも、ドイツ國民の[illegible]された[illegible]の[illegible]ほどが窺はれて頗る[illegible]

さて右のほか、[illegible]等々新設されつつあり、アルサス・ローレンでは八劇場、ボヘミア、モラヴィアでは九劇場に[illegible]

これら劇場の[illegible]者の數は昨年から今年にかけて、四萬二千六百[illegible]名の多きに上り、前年度に比較すると千六百の增加を示し、今後もますます[illegible]の[illegible]向を辿る一方であらうといはれてゐるが、男子の[illegible]はすでに他の[illegible]に[illegible]じ、女子と[illegible]人がこれに代つてゐるのも[illegible]によるものだが、ドイツ演劇風景の[illegible]色を語る一齣といへよう

---

## 白描

―卵の見分け法―

卵の良否を見分けるにはよく[illegible]て[illegible]かしたり、或は殼の表面のザラ\/した石灰質の[illegible]をみたりしますが、比重で見るのが一番たしかな方法であります、大體みたての卵は比重一・〇九、一日たつごとに〇・〇〇二位づつ減じてゆくものです、一〇%の食鹽水は比重が一・〇七ですから食鹽水に卵を入れてみて、沈むものは十日以內の新しいものとすることがいふ

うちに新設される豫定であるといふ

―金屬代用品―

出來るわけです

[illegible]炊事用の[illegible]鍋や釜、湯わかし等が[illegible]陶器製品となり、[illegible]に代つて出現してゐますが、この取扱ひを鐵器と同じにしてゐると、急に[illegible]したりすることですぐ毀れてしまひます、この二つの點を注意して直接[illegible]に使ふものは火力を加へたり、冷したりする[illegible]に急激にやらず、徐々に行はねばなりません、煮立つてゐる[illegible]の中に汁が足りないからといつて無雜作に醬油や水を大量にどつと加へたりしますと、物の命が非常に短くなります

---

### 良書の選擇

西川滿

[illegible]に並んでゐる書物を、一々手に取つて自分の好みに[illegible]ひ購入の可否を決定するのは比較的容易である、もつとも[illegible]に[illegible]ふ比較上の話であつた[illegible]もの[illegible]ずしもすべて良書とは限らない、面白さうだと思つて買つて帰つて讀み出すと案外つまらないこともあり、[illegible]になると思つて[illegible]んだものが[illegible]なもの[illegible]であつたりすることは、よく人の[illegible]するところである、[illegible]

（終始）　本屋に出入し、本をいぢりつけてゐると自ら書物に對する眼が[illegible]て來て、一寸[illegible]を見ても[illegible]物の[illegible]目を[illegible]け出來るやうになるものは、すぐわかるやうに[illegible]を[illegible]つけた本とかは[illegible]の[illegible]が[illegible]出來る

然し大多數の讀者は、この忙しい時に本屋にいつたりするわけにもいかないし、つい世評のよいものとか何かいい本はないかね、と本屋に尋ねたりして、その結果[illegible]なものを手にしてしまふ

このやうに、巷の[illegible]に本があつてさへ、[illegible]とは云ひながら、選擇はかなり[illegible]である。[illegible]に著者の[illegible]に[illegible]を比較せしめる[illegible]が[illegible]たのも[illegible]この[illegible]ましていはんや、ただ一ぺんの新刊廣告や新聞廣告を唯一のたよりに、その[illegible]を[illegible]ばならぬと云ふことは、實に至難の業であり所謂[illegible]ならぬ[illegible]が必要となる

（では）　どうすればよいか。先づ著者を知ることである。專門別にわけてその著者の專門に關する[illegible]ならば、[illegible]の[illegible]であるが一先づ[illegible]

かう（　）なつてくると、[illegible]の[illegible]者の[illegible]と云ふものは[illegible]であり、[illegible]

[illegible]に[illegible]が[illegible]は[illegible]である。この日本文化の[illegible]といふことを[illegible]ふ

岡崎義惠教授の日本文藝學と云へば、その著者とその書とがまことにうつてつけであつて他の人の日本文藝學よりは先づ信用がある、[illegible]が何と云ふ[illegible]から出てゐるかと云ふことを調べる。發行所である。この日本文藝書でも[illegible]やはり一般の[illegible]をもつてゐるのであつて、[illegible]を多く發行してゐる出版元であるなら、その出版物は、著者さへしつかりして居る限り信頼してよからう。いかに著者とその書物とがぴつたりしてみても、あまりにとびはなれた[illegible]から出てゐるなら、一應疑惑する必要がある。これまで[illegible]著者はかり出してゐた出版元が、急に文藝本を刊行したとする。ここに疑惑のあてこみがある。

信用のある出版元は、決してあてこみ物は刊行しないから、この第一、第二の[illegible]は相當重要である。第三、第四と數へてゆくと限がないので省略するが、以上の二つに[illegible]して選擇を[illegible]みにさへすれば[illegible]がないものではない。（[illegible]大抵のことは[illegible]二つの[illegible]に含められるものである）

部の[illegible]となる。日配が[illegible]を現在發行[illegible]したことも、[illegible]の[illegible]である。また讀者[illegible]と云ふものは、[illegible]がちなたから[illegible]く[illegible]とか、[illegible]のためにせんがために[illegible]くとか、さうしたものは今後決して許されてはならない。[illegible]の立場からする[illegible]が新聞雜誌に揭げらるべきである。更に各紙の[illegible]は今の[illegible]な活[illegible]を[illegible]されねばならぬし、良[illegible]の[illegible]が必要となる。けだし戰時下に刊行さるべきものは良書に限るのであつて日本出版會が[illegible]を開始したのもそのためであり、安んじて讀者が自分の讀む書物を選び、最も[illegible]たらしむることが[illegible]なのである。書評と推薦は、[illegible]上の指針として重要なので、大方に[illegible]る。

### 新着圖書

臺灣總督府圖書館

歌集羽搏き　臺灣總督府[illegible]　牧　逸二

日本國體の理論　伊藤[illegible]

青年の人生論のため　[illegible]

軍人再起奉公の手記　[illegible]

戰時婦女訓　目加田[illegible]

詩　集　吉田[illegible]

學生生活調査　海後宗臣

[illegible]少年讀書指導　石原[illegible]

戰時大東亞經濟　岡本正一

太閤秀吉　中野[illegible]

---

勤皇か佐幕か！維新の激流を縫ふ

松竹時代劇版！

京洛の舞

20日ヨリ24日マデ

◇增岳、我々に挺身隊◇

東寶直營國際館

---

謹承　必謹

感謝陸海空軍之武勳　祝航空記念日　祈皇軍將兵武運長久

眞摯敢鬪

株式會社南興公司　本社　臺北市大和町二ノ七　營業所[illegible]

株式會社竹腰商店　臺北、高雄、[illegible]　電話[illegible]番

株式會社松本商行　臺北市[illegible]　營業部[illegible]　拓殖部[illegible]

生糸撚糸卸商　高砂商行　臺北市[illegible]　代表者　則松榮　電話[illegible]

靴鞄商　巴商會　臺北市[illegible]　久米幸　電話[illegible]番

蚊帳・蒲團　秋本蒲團店　臺北市[illegible]　電話[illegible]番

三井物產臺灣總販賣、貿易商　黃阿池商行臺北支店　本店[illegible]　纖維工場[illegible]

株式會社林瑞記商行　臺北市[illegible]　電話[illegible]番

株式會社大同鐵工所　臺北市宮前町一八六番地　社長　林哲生　電話[illegible]番

建材商　三德スレート商會　臺北市御成町五ノ二二番地　電話[illegible]番

土木建築請負業　協志商會　臺北市[illegible]　林尚志　電話[illegible]番

土木建築請負業　榮興商會　本店　臺北市[illegible]　代表者　葉山仁和　電話[illegible]

土木建築請負業　木下商會　臺北市[illegible]　木下清水　電話[illegible]番

土地建物賣買並ニ金融　正和商店　臺北市[illegible]　柳川正和　電話[illegible]番

●藥品全般　東京堂藥局　臺北市[illegible]　電話[illegible]番　出張所　大阪市[illegible]

國民學校教材[illegible]　寶山模型航空機部　臺北市[illegible]　電話[illegible]番

雪文の花　伊勢賀商會　[illegible]

日本錦道株式會社臺北支店　臺北市[illegible]

臺灣住宅營團株式會社　臺北市[illegible]　電話[illegible]番

佐土原商事株式會社　臺北市大和町四ノ八番地　高雄支店　東京營業所　伏見營業所

臺灣石油販賣有限會社　臺北市大和町二ノ九番地　電話[illegible]番

國產スレート株式會社　臺北市宮前町九六番地　電話五一一三番

臺灣硝子販賣株式會社　臺北市榮町二ノ二三番地　取締役社長　前田久吉　電話[illegible]番

臺灣製靴工業株式會社　臺北市[illegible]町五ノ六三番地　電話八九六六番

張東隆商事株式會社　臺北市太平町五ノ五〇番地　電話[illegible]番　支店[illegible]　出張所[illegible]

煉炭並蓬萊炭　中和興業株式會社　本社　臺北市[illegible]町二ノ三一番地　電話[illegible]番

東邦鐵工株式會社　臺北市下奎府町四丁目　電話五六六六番

慶珍醬油株式會社　本社　七星郡士林街[illegible]　電話貳〇五番

日本醬油株式會社　臺北市[illegible]

臺灣製罐株式會社　臺北市大和町四ノ八番地

ローヤル映寫機[illegible]　臺灣高密工業株式會社　本社　臺北市大和町四丁目八番地　工場[illegible]

臺灣自轉車更生株式會社　臺北市太平町二ノ一四一番地　電話四貳六九番

興南工業合名會社　[illegible]

大日本模型航空機[illegible]　臺灣模型航空機配給組合　臺北市[illegible]